

「下妻市地域包括ケアシステム づくりに向けた講演会」開催

市では少子高齢化に伴う介護・医療を取り巻く問題を乗り越えていくため、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス」などのサービスを一体的に提供される仕組みと地域づくりの取り組みを目指し、「下妻市地域包括ケアシステムづくりに向けた講演会」を3月13日、千代川公民館ホールで開催しました。

講師に茨城大学社会連携センター准教授の長谷川幸介氏と茨城大学協働のまちづくり研究会の外岡仁氏の両氏を迎え、「地域包括ケアとこれからの下妻市民の幸せ装置」と題した講演会に、市民など99人が参加しました。

離れて暮らしながら母親の認知症を見てきた長谷川氏は「『血縁』の介護に加えて、地域で暮らし、見守られてきた『地縁』『友縁』『職縁』の4つの縁のつながりが重要」と話し、「人口減少社会の中で医療や介護、行政、民間、ボランティアが自主的に助け合える地域づくりを進め、それぞれが繋がっていくことでセーフティーネットになる」と訴えました。

参加者からは「地域のつながりの大切さを改めて感じた。自分でできること広げていく努力をしていきたい」などの感想がありました。



掛け合いながら講演を進める長谷川氏(右)と外岡氏(左)

自殺対策の普及啓発 「こころの健康づくり講演会」開催



講演で積極的に関わる大切さを訴える茂さん (写真:常陽リビング社提供)

3月の「自殺対策強化月間」の一環として市は、市民に自殺対策の普及啓発を行い、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指そうと「こころの健康づくり講演会～STOP!!自殺 東尋坊の命の灯台“茂さん”からのメッセージ～」を2月14日、千代川公民館ホールで開催しました。

参加した市民など約80人は、福井県の東尋坊で自殺企図者の保護活動を11年間続けてきたNPO法人心に響く文集・編集局理事長の茂幸雄さんの警察官時代からの体験談や保護した自殺企図者の心の叫びなどに耳を傾けました。

「自殺防止活動は人命救助です」と語気を強める茂さん。東尋坊で仲間とパトロール活動を続ける中で「まず一歩を踏み出す。待っていてもダメ。進んで声かけを」と、待ちの姿勢ではなく積極的に話し掛け、保護した人には「寄り添い、ともに考え、孤立させない。一緒に歩むことが大切」と訴えました。

参加者した30代男性からは「積極的に関わることの大切さ。そこに自殺企図者との信頼関係が生まれるのだと思った」などと話が聞けました。

スポーツと防災の拠点施設「下妻市立総合体育館」がリニューアルオープン

耐震改修工事が完成した「下妻市立総合体育館」が3月26日、市のスポーツと防災の拠点施設として装い新たにリニューアルオープンしました。

同体育館は昭和56年1月建築で、市のスポーツ拠点として利用される中、災害時の避難所としての耐震化や雨漏りなど築35年による老朽化が課題となっていました。平成27年6月から約8か月間の工事で、建屋が耐震化されたほか、LED照明での省電力化や床の張替、3分100円で利用できる温水シャワー、災害時の避難所として機能するよう入口付近に共有スペースが整備されるなど安全性と利便性が高まりました。

リニューアルオープン式典で青柳教育長は「古い建物だったが耐震化が完了し、安心して利用していただけるようになった。未永く活用していただきたい」とあいさつ。リニューアル記念近隣中学校バスケットボール大会に出場する選手たちも式典に参列し、新たな門出を祝

いました。一般利用は4月1日からで、予約などは従来どおり同体育館に電話予約または直接申込になっています。

問い合わせ 総合体育館 ☎43-7296



リニューアルオープンした下妻市立総合体育館(外観・南側)

行政改革の進捗状況をお知らせします

市では、平成23年度に策定した「第4次下妻市行政改革プラン2011-2015」に基づき、行政改革に取り組まれました。

このたび、平成27年12月末時点の行政改革の進捗状況の取りまとめが完了し、市民の代表で構成される行政改革懇談会にて進捗状況の報告をしました。その概要は次のとおりです。

平成27年度中の主な取り組み〔抜粋〕

■より良い広報紙の作成

自治区長等を通じて各戸への配布をはじめ、大型店舗や公共施設等に特設スタンドを設置して配布率向上に努めている。さらに、市ホームページやツイッター、フェイスブックを活用して広報紙発行をお知らせし、インターネット上から広報紙を閲覧する機会を提供している。

■財政計画の策定

経済状況により地方税収入は変化するが、現行の制度などから歳入の見通しを立てて、市の中長期における事業計画を把握している。

■ジェネリック医薬品の利用推進

国保総合システムの稼働により、現在使用している医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、安

くすることができる自己負担額をお知らせする差額通知の作成が可能となったため、年2回から年4回に通知の発送回数を増やした。

評価基準と平成27年12月現在の取組状況

区分	件数	比率(%)
完了	2	2.3
実施	73	85.9
取組中	10	11.8
合計	85	-

※報告書の詳しい内容は、市ホームページで公開しています。また、企画課企画調整係(本庁舎2階)窓口でも閲覧できます。

問い合わせ 企画課 ☎43-2113



慎重な審議が行われた行政改革懇談会(3月3日、市役所本庁舎で)

公正で効率的な行政運営の確保

監査委員の選任

平成28年第1回市議会定例会において、中山政博氏(鎌庭)を市議会選出の監査委員に選任することが同意されました。

監査委員は、公正な立場で、市関係機関の財務に関する事務が適正かつ効率的に行われているかを監査します。



中山 政博氏 (鎌庭)

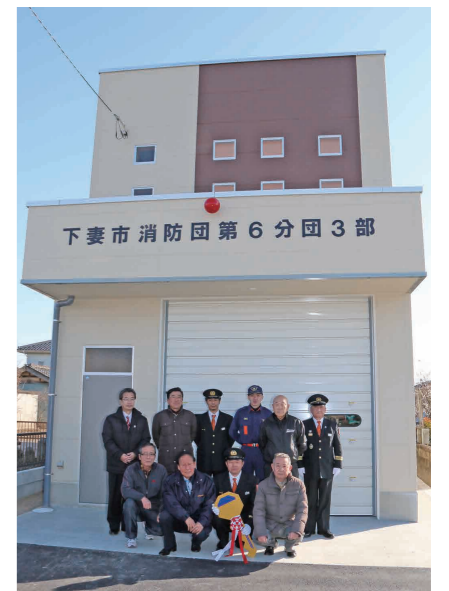
消防・防災

下妻市消防団第6分団第3部の 消防団詰所を改築

老朽化に伴う改築工事が完了した下妻市消防団第6分団第3部の消防団詰所で3月1日、引渡式を行いました。

新しい消防団詰所は、鉄骨造2階建て、延べ床面積65平方メートル。同敷地内には電動式ホース乾燥塔も新たに整備されました。

引渡式には地元の消防団員をはじめ、自治区長、市議会議員、下妻消防署員など関係者20人が参加。稲葉市長から鍵を渡された大月武史第6分団長は「設備が整い活動しやすくなった。市民の生命・財産を守るため、今まで以上に頑張ってもらいます」と力強く語りました。



設備、機能が拡充された新消防団詰所